

~こころ豊かなふれあいを目指して~

ふれあい交流館だより

2022年12月15日 第26号



佐藤愼さんの作品
千支の凧（玄関に展示）



第14回ふれあい交流の集いの様子（湖西民踊愛好会のみなさんの踊り）

ふれあい交流の集いで披露された三番叟



湖西歌舞伎保存会 伝統芸能を身近に

現在の湖西歌舞伎保存会は、昭和五四年に発足し、翌年から毎年公演を続けてきました。二年ほどコロナの影響で休演しましたが、本年六月に第四一回の定期公演を三年振りに開催することが出来ました。

ふれあい交流館は、前身の自治会館の時に、毎年六月の約一か月間、稽古場の倉庫に歌舞伎の道具を保管させていただいていました。今は亡き前会長の星川一男さんや市川十郎師匠との思い出の場所です。自治会館からふれあい交流館になってからは、少し縁遠くなってしまいました。

ギャラリー展示の予定

交流館の玄関ホールに皆様の力作を展示させていただきます。今後の展示予定は、次のとおりですので、ぜひ、ご覧ください。

令和5年	1月	小筆作品
	2月	みかんアート作品
	3月	写真作品
	4月	水墨画作品
	5月	木目込み人形作品
	6月	ちりめん細工作品
	7月	写真作品
	8月	編みぐるみ作品
	9月	刺しゅう作品
	10月	パステル画作品
	11月	絵手紙作品

展示を希望される方は、管理人までお申し出ください。

（右は本年9月に展示された刺しゅう作品）



そんな中、倉田さんが来られ、「子どもたちに伝統芸能である歌舞伎を生で見せてあげたい」という話をいただきました。歌舞伎と言うとやはり年配のファンが多く、子どもたちに見てもらう機会はなかなかありません。お引き受けて夏休みに計画しましたが、コロナの感染者が大変多く、延期になってしまいました。年明けの春休みにも実施を予定しています。

そのような縁から「ふれあい交流館の集い」にも声を掛けていただき、トッパッターで三番叟を披露させていただきました。三番叟の稽古場として交流館をお借りし、とても良い施設だと感激しました。湖西歌舞伎の原点であるふれあい交流館を、これからもぜひ稽古場としてお借り出来ればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

利用される方の安全を

ふれあい交流館では、利用される方への安全対策のため、毎年四回の自衛消防訓練と一回の救命講習会を行っています。

自衛消防訓練では、火災を想定した訓練を三回、地震を想定した訓練を一回行っています。

火災を想定した訓練では、利用者の避難誘導、消防署への通報、消火活動を実施するとともに、消防設備の保守・点検をお願いしている業者から設備の使用方法等のレクチャーを受けています。

また、地震を想定した訓練では、避難訓練のほかエレベーターに閉じ込められた方の救出方法を専門業者から指導を受けています。

編集後記

交流館だよりを発行いたしますのは二年ぶりになります。これまでは、主に高齢者と子育て中の方の利用に限られていましたが、令和三年四月一日より市内のすべての方の利用が可能となりました。

交流館は、一階に三〇帖の和室が二部屋と調理室が、二階には八〇平方メートル程の洋室が二部屋あります。利用に際しては、利用料が必要となり、一部屋四時間当たり四〇〇円（事業者は四、〇〇〇円）、使用申請時に納付していただくこととなります。

コロナの影響で、ふれあい交流の集いが中止になったり利用制限があったりと利用者の皆様には大変ご不便等をおかけいたしましたことをお詫び申し上げます。

また、コロナの影響が見通せませんが、ご寄贈くださいましたカラオケセットを十二分に活用させていただき活気ある交流館にしていきたいと存じます。

発行 湖西市ふれあい交流館
五七六一五一〇（FAX同）

言葉

指定管理者 倉田 榛子

早いものですネ。もう半月で新しい年を迎えます。

振り返りますと、コロナに明け暮れた一年でありましたが、多くの皆様方のお陰により、ふれあい交流の集いが三年ぶりに開催され、楽しく、うれしいひと時を共有できた一年でもありました。

さて、最近、祖母の言葉を思い出す機会が多々あります。それは、「自分から発した言葉も、良い行いも、悪い行いも必ず自分に返ってくるんだよ。心して責任を持って生きなさい」とよく言っていました。祖母の言葉のお陰で不快な感じを受けた時、必ず自身自身を振り返るようになりました。でも、まだまだ足りない事ばかりです。

昔、日本は『言葉の幸（さき）わう国』と呼ばれていました。今、この様な言葉遣う人もなく意味も知らない人達が増えていきます。言葉には命、魂が宿り、神秘的な霊力が宿り、日本語の美しさ、大切さを私達に教えてくれます。心ない噂話で自殺未遂を起こした友達を知っています。人から言われたら、心がとても傷つくのに、人に対しては不満を言ったり、批判をする、ついつい話に乗ってしまい、余分な事まで話してしまう人間の弱さを感じます。

祖母への感謝とともに、美しい日本の言葉をとおして皆様により幸せになつて欲しいと願うこの頃です。

第十四回ふれあい交流の集い



長寿会鷺津クラブ (若菜会)



ハワイアンミュージックブラソサイエティ ハウオリ



Ma-Sound-Aki



湖西国際交流協会 (中国舞踊)



ほほえみの会



チンドン屋を招いての集い



日本壮心流



湖西国際交流協会 (二胡倶楽部)



長寿会鷺津クラブ (レクリエーションダンスクラブ)



昇の会

マジックショー



マジック5



夏目洋之



ハワイアンミュージックブラソサイエティ カイ

令和四年一〇月二三日に「ふれあい交流の集い」を三年ぶりに開催しました。コロナ対策のため観覧席を減らした中での開催でしたが、約二〇〇名の来館者がありました。利用団体の皆様や、日頃利用されていない方、一四のグループが日頃の練習の成果を披露しました。また、チンドン屋を招き、全員で歌ったり踊ったりして大変盛り上がったひとときでした。
なお、猪井静香さんからカラオケセットが寄贈されましたので、感謝状を贈呈しました。



チンドン屋の演奏により皆で輪踊り

ありがとうございました

カラオケセットが寄贈されました

「ふれあい交流の集い」の開会式で猪井静香さんからカラオケセットが寄贈されました。
以前ですと「ふれあい交流の集い」で生演奏によりカラオケをされる方が一〇名程いましたが、交流館にはカラオケセットがないため、今回の集いでは参加者がいませんでした。
いつも参加されていた猪井さんがその状況を大変寂しがられ、カラオケセットを交流館に寄贈してくださいました。
今後は、利用方法の説明会を実施し、多くの皆様に活用してもらいたいと思います。



猪井さん (左) からカラオケセットを受領する管理者